

TOKYO FASHION WEEK in INDIA

一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構は、このたび経済産業省のクール・ジャパン戦略推進事業の一環として、「TOKYO FASHION WEEK in INDIA」事業を実施いたします。

TOKYO FASHION WEEK in INDIA 事業では、インド・ニューデリーにて2012年2月15日(水)から19日(日)まで開催される WILLS LIFESTYLE INDIA FASHION WEEK Autumn Winter 2012-13 (以下、WIFW | 主催 Fashion Design Council of India)で、日本のクリエイティブカルチャーを体現する10のブランドのフィロソフィーとアイテムを展示する「10 Faces of Tokyo Culture」を実施。同ファッション・ウィークに外国人デザイナーが参加するのは初めての試みとなります。日本ファッション・ウィーク推進機構としても、先日イタリア・フィレンツェで開催された TOKYO Fashion Week in ITALY に引き続き、同ファッション・ウィークに参加することで、高成長を続けるインド市場への日本人ファッション・デザイナーの進出を支援して参ります。

本事業では、これまでに数々のショップのディレクションやバイイング、デザインイベント DESIGN TIDE TOKYO 等を手掛ける method の山田遊氏をディレクターに迎え、ファッションを中心に、デザイン・インテリア等、ジャンルを越えた日本のクール・ジャパンの魅力を発信します。更には、日本貿易振興機構(ジェトロ)が出展企業の商談を支援いたします。

また、期間中の18日には同会場内にて、日本を代表するグラフィックデザイナー原研哉氏によるデザインセミナー、多くの東京ブランドの演出を手掛ける金子繁孝氏のプロデュースによる「ANREALAGE」「mintdesigns」「suzuki takayuki」の3ブランド合同ショー、レセプションも実施し、クール・ジャパンを成長するインド市場に売り込みます。2012年は、日印国交樹立60周年にあたっており、その記念事業としても相応しいイベントになるものと確信しております。

2月20日にはムンバイにて原研哉氏と現地有識者とのデザインディスカッションの実施。また、現地の有力ショップにて、テストマーケティングの実施も予定しております。

日本の質の高いクリエイションの発信、文化交流の促進、現地での継続的なビジネスの展開を目指す本事業に是非ともご注目ください

① エキシビション「10 Faces of Tokyo Culture」

日時：2012年2月15日(水)～2月19日(日)

会場：Pragati Maidan No.18 ホール WIFW 会場内エキシビションエリア特設スペース

内容：東京のカルチャーの多様性を様々なカテゴリーの10クリエイターのアイテムやコンセプトの展示を通じて紹介。

参加ブランド：amadana, ANREALAGE, carnet, e.m. giraffe, HIROCOLEDGE,

mintdesigns, suzuki takayuki, TROPOPAUSE, 無印良品

② デザインセミナー&ファッションショー&レセプション

日時：2012年2月18日(土) 14:45～

会場：Pragati Maidan No.18 ホール WIFW 会場内 ランウェイスペース MSA1

内容：原研哉氏によるデザインセミナー「emptiness」を開催。その後同会場にて ANREALAGE, mintdesigns, suzuki takayuki の3ブランドによる合同ファッションショー開催。また、別スペースにてレセプションを実施。

③ ムンバイでのデザインディスカッション

日時：2012年2月20日(月) ※時刻・会場未定

内容：ムンバイにて、原研哉氏によるプレゼンテーションおよび有識者とのデザインディスカッションを実施。

【別添資料】

Wills Lifestyle India Fashion Week (ウィルス ライフスタイル インディア ファッションウィーク)

インドの首都ニューデリーにて開催されるインド最大のファッション・トレードフェア。

インドファッションデザイン協議会 (FDICI) が主催するこのイベントは、インド大手のアパレル企業 Wills Lifestyle をメインスポンサーとして、今期で 19 回目を迎える。前回 10 月に開催された 2012 年春夏では、国際展示場ブラガティマイダンを会場に、インド及び欧米、日本のバイヤー、富裕層やボリウッドスター達が来場。34 のショー、183 のブース展示が行われた。

<http://www.fdcii.org/>

企画プロデューサー：山田遊 (やまだ・ゆう)

東京都出身。南青山の IDEE SHOP のバイヤーを経て、2007 年、method (メソッド) を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役。

また、デザインイベント「DESIGNTIDE TOKYO」のディレクターとしても活動。主な仕事として、国立新美術館ミュージアムショップ「スーベニアフロムトーキョー」サポートディレクション、羽田空港第二ターミナル 3F「Tokyo's Tokyo」グッズセレクト、リサイクルショップ「PASS THE BATON」MD コーディネーター、「APEC JAPAN 2010」各エコノミー首脳への贈呈品の選定協力、銀座 7 丁目「SHISEIDO THE GINZA」1F ビューティーマルシェ内グッズディレクション、花火のセレクトショップ「fireworks」プロデュースなど。



デザインセミナースピーカー：原研哉 (はら・けんや)

デザイナー。1958 年生まれ。「もの」のデザインと同様に「こと」のデザインを重視して活動中。2000 年に「RE-DESIGN—日常の 21 世紀」という展覧会を制作し、何気ない日常の文脈の中にこそ驚くべきデザインの資源があることを提示した。2002 年に無印良品のアドバイザーボードのメンバーとなり、アートディレクションを開始する。2004 年には「HAPTIC—五感の覚醒」と題する展覧会を制作、人間の感覚の中に大きなデザインの資源が眠っていることを示した。

長野オリンピックの開・閉会式プログラムや、2005 年愛知万博の公式ポスターを制作するなど

日本の文化に深く根ざした仕事も多い。2007 年、2009 年にはパリ・ミラノ・東京で「TOKYO FIBER—SENSEWARE 展」を、2008 年から 2009 年にかけては「JAPAN CAR 展」をパリとロンドンの科学博物館で開催するなど、産業の潜在力を展覧会を通して可視化し、広く世界に広げていく仕事に注力している。2011 年には北京を皮切りに「DESIGNING DESIGN 原研哉 2011 中国展」を巡回するなど、活動の幅をアジアへと拡大。著書「デザインのデザイン」や「白」はアジア各国語版をはじめ多言語に翻訳されている。

日本デザインセンター代表取締役。武蔵野美術大学教授。日本デザインコミッティー理事長。日本グラフィックデザイナー協会副会長。



Photo: Yoshiaki Tsutsui

ショープロデューサー：金子繁孝 (かねこ・しげたか)

英国のセントラル セントマーチンズ美術大学 舞台デザイン科卒業後、国内外のファッションショー・イベントの演出、デザイン及びプロデュースを実施。

【過去実績クライアント】

JUNYA WATANABE COMME des GARCONS, JULIUS, tao COMME des GARCONS, Reem, JIL SANDER NAVY, G.V.G.V., mintdesigns, AGURI SAGIMORI, LEXUS, SWAROVSKY, Prada (AOYAMA SHOP LAUNCH PARTY)